

## 総括

### ■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

### ■ 認定の種別

書面審査および8月13日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

### ■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」  
該当する項目はありません。

#### 1. 病院の特色

貴院は、藤田保健衛生大学の関連施設として1987年に開設された。主に回復期リハビリテーション、緩和ケアを対象に質の高い医療を提供し、利用者のQOLの向上に取り組むことを基本方針としている。2000年にリハビリテーションセンターを開設され、患者の症状の回復・スムーズな社会復帰を目標としたFITプログラムによる週7日間の集中的なリハビリテーションが行われている。2001年からは全国に先駆け、回復期リハビリテーション病棟を開設され、その後増床された。

回復期リハビリテーション病棟の理念や基本方針が職員一人ひとりに徹底され、患者の個別性を重視し質・量ともに充実したリハビリテーション医療の提供、そして地域へつなぐ医療が実践されている。さらには、先進リハビリテーション棟の整備や、訪問事業部の開設など、リハビリテーション医療のあるべき姿を先取りし拠点病院として役割を担い、現在に至っている。

対外的にもリハビリテーション医療に関する専門性を活かし、多くの学術研究が行われ、各種講演会、研修会での活動が行われている。さらに回復期リハビリテーション協会における活動、七栗リハビリテーションセミナーの開催、脳卒中連携事業における積極的取り組みなど高く評価できる。今後、ますますの貴院の発展を祈念したい。

#### 2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

病院の理念を踏まえた回復期リハビリテーション病棟の理念と基本方針が明文化され、職員や利用者に対して適切に周知されている。FITプログラムを基に365日充実したリハビリテーション・ケアがチームで提供されている。リハビリテーショ

ン科専門医 4 名を含め、多くの専門職が配置され、リハビリテーションに関連した認定看護師、療法士も多数育成されており高く評価できる。回復期リハビリテーション病棟を統括的に運営するための体制として、リハビリテーション運営委員会が開催されており、決定事項の職員への周知は適切である。

患者の安全確保に対しては、病院全体の医療安全には安全管理委員会が組織的に取り組んでおり適切である。患者の急変時対応に関しては、職員全員が BLS 研修を受講し、多職種参加型のシミュレーションも実施されている。療養環境については、感染制御、安全性への配慮が適切に行われている。

質改善に向けた取り組みとして、学術研究・学術研鑽にも積極的に取り組まれ、職員教育・研修が組織的に検討・策定され、実施結果を評価しながら、各職種の専門性とチーム力を高める仕組みは優れたものがあり、高く評価できる。急性期と回復期の地域連携体制の構築にも主導的な役割を果たし、急性期病院を定期的に訪問するなど、顔の見える関係を維持・向上する取り組みも高く評価できる。在宅支援に関しては、病院の特性から、入院患者が非常に広域であるなどの背景もあり課題が見受けられるので、さらなる対応が期待される。

### 3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

リハビリテーション科専門医 4 名を中心に、入院患者の診療にあたり、チームの統括や指導、患者・家族への説明や指導の役割を適切に果たしている。リハビリテーション医学に関する教育・研究に関しては、リハビリテーション科専門医が回復期リハビリテーション診療を主導しており、他職種に対しても、勉強会の講師、臨床研究の指導などを行っている。回復期リハビリテーション病棟の臨床データを用いた論文、総説や学会発表も活発であり、後進育成の役割も積極的に果たしており、高く評価できる。

看護師・介護職の業務手順が整備されており、看護・ケア場面で種々の実行性のある情報共有ツールを活用しながら個別性のある看護・ケアを行っている。回復期リハビリテーション認定看護師などの育成も実施されている。退院後の生活を想定した課題を捉えてさらに看護計画を実践されるとさらに良い。

各療法士は標準的な評価に基づいて策定した目標達成のための介入を、進捗に応じて適切に行っている。臨床技術の向上や業務運営の改善など、多角的な質向上のための取り組みが計画的に行われ、その成果も十分得られている。活発な研究活動に基づく臨床実践、療法の質向上や人材育成の支援も積極的かつ総合的に行われており、高く評価できる。

社会福祉士はリハビリテーション・ケアの進捗と患者・家族の生活状況や希望を踏まえた支援を行っている。管理栄養士はカンファレンスへの参加、ミールラウンドなどを積極的に行い、院内の「NST 支援システム」を基に個別的で効率的な栄養管理を適切に行っている。薬剤師、歯科衛生士はチームメンバーとして専門性を発揮している。

#### 4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

入院当日から標準化された評価が多職種で実施されている。医師の入院時評価、入院診療計画書、リハビリテーション総合実施計画書、看護・介護計画、栄養計画などの情報は、電子カルテで共有され、その後のカンファレンスで合議による修正などが適切に行われている。リハビリテーション総合実施計画書の患者・家族に対する説明は医師が行い、同意を得ている。一部の職種において、入院当日の評価に関わっていない場合も見受けられるため、より早期からそれぞれの専門的見地における課題抽出に関与されることを期待したい。

ADLなどが適切に把握され、FITプログラムによる能力向上に向けたリハビリテーション・ケアが多職種の連携のもとに積極的に行われている。多職種間の情報共有は毎朝のユニットカンファレンス、カンファレンス記録、診療記録などでタイムリーに行われている。リハビリテーション・ケアの進捗に伴って生じた課題については、患者の障害の特性に応じて、問題点を絞ったカンファレンスで検討がなされるなど、より専門性の高いチーム医療が展開されている点は高く評価できる。また、ロボティクスなど、新規技術を用いた介入も積極的に実施されていることも高く評価できる。管理栄養士、社会福祉士、薬剤師や歯科衛生士も患者の個々の問題に対して、チームと協調しながら専門性を発揮している。

自宅復帰に向けて、家屋調査や訪問指導、外出、外泊練習、介護力の評価や支援などが計画的に行われている。今後、退院後の調査をさらに充実され、病棟業務のさらなるブラッシュアップに繋げることを期待したい。

# 1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

## 評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	Ⅱ
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	Ⅰ
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	Ⅱ
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	Ⅱ
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	Ⅱ
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	Ⅱ
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	Ⅰ
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	Ⅱ
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	Ⅰ
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	Ⅱ
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	Ⅱ
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	Ⅱ

## 2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

### 評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	Ⅱ
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	I
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	I
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	Ⅲ
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ

### 3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

## 評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	II
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	II
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	II
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	II
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	II
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	II
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	II
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	II